

## 令和4年度 年間指導計画

教 科 名	家庭科
学年・年間授業時数	1学年・35時間
使用教科書(出版社)	「新しい技術・家庭 家庭分野」(東京書籍)
使用副教材(出版社)	なし
教科担当者名	上林 和子

### 1 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

### 2 観点別学習状況の評価規準・評価方法

観点	評価規準	評価方法
知識技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・実技テスト</li> <li>・学習活動の観察</li> <li>・作品</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
思考判断表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・定期考査</li> <li>・実技テスト</li> <li>・学習活動の観察</li> <li>・実習課題への取組</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と共働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への取組</li> <li>・学習課題への取組</li> <li>・実習課題への取組</li> <li>・自己評価</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

### 3 年間学習計画 《家庭科:1年》

期	月	週	単元・教材名・配当時数	学習内容	学習のポイント
前期	4	1	授業ガイダンス (1)	◎家庭分野のガイダンス	●学習内容と授業の進め方を理解する。
		2		◎自分の成長を振り返る	●家族・家庭の基本的な機能
		3		◎家族・家庭の基本的な機能	について理解する。
		4		◎食事の役割と中学生の栄養(4)	●食事の役割について理解する。
	5	5	食事が果たす役割	◎健康に良い食習慣	●よい食習慣について理解する。
		6		◎栄養素の種類と働き	●栄養素の種類と働き
		7		◎中学生の栄養の特徴	について理解する
	6	8	中学生に必要な栄養(7)	◎食品に含まれる栄養素	●身近な食品の栄養的特徴を知る。
		9		◎中学生に必要な栄養素	●6つの食品群に分類する。
		10		◎中学生の一日に必要な	●食品群別摂取量の目安を知る。
		11		食品の種類と概要	●一日に必要な食品の概料を知る。
	7	12	◎中学生の一日分の献立の工夫	◎中学生の一日分の献立の工夫	●一日分の献立を考える。
		13			
		14			
	8	15	食品の選択と購入 (4)	◎食品の選択と購入	●食品を選択する観点を知る。
		16		◎生鮮食品と加工食品	●生鮮食品・加工食品の特徴を知る。
		17		◎食品の保存	●食品の保存方法について知る。
18		◎食中毒の防止		●食中毒の防止について知る	
19					
後期	10	20	日常食の調理と地域の食文化(13)	◎日常食の調理	●野菜の調理上の性質を知る。
		21			●肉の調理上の性質を知る。
		22			●魚の調理上の性質を知る
	11	23	◎安全と衛生に気をつけて調理をする。	◎地域 of 食文化	●安全と衛生に気をつけて調理をする。
		24		◎地域 of 食材を生かした和食の調理	●地域 of 食材・食文化を知る。
		25		◎持続可能な食生活を目指して	●地域 of 食材を用いた和食の調理を知る。
2	26	生活の課題と実践(3)	◎消費・環境の課題と実践	●持続可能な食生活のためにできることを考える。	
	27		◎食生活の課題と実践	●自分や家族の食生活を見直す。	
	28				
	29				
	30				
3	31			●より豊かな生活にしたりするため	
	32			の工夫を考え計画的に実践する。	
	33				
	34				
	35				

\* ( ) 内の数字は配当時間を表す。

## 令和4年度 年間指導計画

教 科 名	家庭科
学年・年間授業時数	2学年・35時間
使用教科書(出版社)	「技術・家庭 家庭分野」(東京書籍)
使用副教材(出版社)	なし
教科担当者名	上林 和子

### 1 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

### 2 観点別学習状況の評価規準・評価方法

観点	評価規準	評価方法
知識技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・実技テスト</li> <li>・学習活動の観察</li> <li>・作品</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
思考判断表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・定期考査</li> <li>・実技テスト</li> <li>・学習活動の観察</li> <li>・実習課題への取組</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と共働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への取組</li> <li>・学習課題への取組</li> <li>・実習課題への取組</li> <li>・自己評価</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

### 3 年間学習計画 《家庭科:2年》

期	月	週	単元・教材名・配当時数	学習内容	学習のポイント
前期	4	1	○授業ガイダンス (0.5)	◎一年間の見直し	●1年間の学習の見直しをもつ。
		2	○調理のための食品の	◎食品の選択と購入	●食品を選択する観点を知る。
		3	選択と購入 (2.5)	◎生鮮食品と加工食品	●生鮮食品・加工食品の特徴を知る。
		4	○日常食の調理 (1)	◎食品の保存・食中毒の防止	●食品の保存方法と食中毒の防止について知る。
	5	5	○衣生活・住生活		
		6	1日常着の活用 (3)		
		7	○自分らしくコーディネート	◎TPOに応じた着用の仕方	●衣服のはたらきや着用の工夫について学び生活に生かせるようにする。
		8	○衣服のはたらき	◎衣服の選び方・計画的な活用方法・表示	
	6	9	○衣服の入手計画と選び方		
		10	○衣服の構成	◎各部の名称	●洋服と和服の特徴を知る。
		11	2日常着の手入れ① (4)	◎洋服と和服の違い	●衣服の適切な選び方や活用方法、衣服の表示について理解する。
		12	○衣服の汚れと手入れ	◎衣服材料に応じた手入れの方法	●いろいろな衣服の材料と特徴について理解し、適切な手入れの方法を知る。
		13	○衣服の素材と手入れ	◎簡単な手入れの実習	●和服の着付けを体験する
	7	14	○衣服の洗濯		
		15	○衣服の構成	◎和服の着付け	
		16			
	8	17	3. 布を用いたものの製作 (8)	◎小物入れの製作	●製作手順や正しい用具の扱い方、安全な作業の進め方を理解し製作を工夫して行う。
	9	18			
		19			
		20			
		21			
		22			
23					
10	24	2日常着の手入れ② (2)	◎様々な手入れと補修	●手入れや補修の方法を理解する。	
	25	衣服の補修・収納保管	◎アイロンかけの実習	●適切なしみ抜きの実習を行う。	
	26	住生活の自立	◎資源や環境に配慮した衣生活	●Yシャツのアイロンかけをする。	
	11	27	1. 住まいのはたらき (2)	◎住まいのはたらきと役割・環境との関わり	●衣生活からの環境問題を考える。
		28	○住まいの様々な役割		●住まいの様々なはたらきと役割を理解し、環境との関わりを考える。
		29	○家族と共に住まう	◎家族と住まいとの関わり	●住宅広告を活用して間取り図を読みとり、家族と住まいとの関わりを考える。
30	○住まい方のルールと工夫	◎住まい方のルールについて			
12	31	2. 健康で安全な住まい (5)		●住まいの汚れの特徴を理解し汚れに適した掃除方法を学ぶ。	
	32	○家族の健康と室内環境	◎住まいの汚れと掃除	●快適な室内環境を整える工夫を考える。	
	33	○家庭内の安全	◎室内環境の整え方	●住まいや地域の共有空間を住みやすくする工夫を考える。	
	34	○災害への備え	◎家庭内の事故と安全対策	●家庭内の事故と安全について理解し工夫できるようにする。	
1	35	○災害時の住まいと暮らし	◎防災対策	●防災対策の工夫	
	36	○地域に配慮した住まい方			
	37	D身近な消費生活と環境	◎物資とサービス・値段の仕組み	●物資とサービスの意味を理解しものの値段の仕組みを知る。	
2	38	1. 家庭生活と消費 (1)			
	39	2. 商品の選択と購入と消費生活 (5)	◎選択の条件と生活情報の表示やマーク	●購入時の選ぶポイントについて学ぶ。	
	40	○商品購入のプロセスと情報活用		●様々な販売や支払いの方法、契約の意味について理解する。	
	41	○購入方法と支払い方法	◎販売や支払いの方法	●クーリングオフの方法を理解し、様々な情報について知る。	
3	42	○契約と消費トラブル	◎悪質商法	●消費生活センターの役割と消費者に関わる様々な法律や仕組みを知る。	
	43	○消費者を支える仕組み	◎契約解除方法や購入のための情報		
	44	○消費者の権利と責任	◎権利と責任・消費者保護の公共機関	●消費行動と環境問題について関心をもち、生活に生かせるようにする。	
	45	3. 消費生活と環境 (1)	◎グリーン消費者と環境		

\* ( ) 内の数字は配当時間を表す。

## 令和4年度 年間指導計画

教 科 名	家庭科
学年・年間授業時数	3学年・17.5時間
使用教科書(出版社)	「技術・家庭 家庭分野」(開隆堂)
使用副教材(出版社)	なし
教科担当者名	上林 和子

### 1 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

### 2 観点別学習状況の評価規準・評価方法

観点	評価規準	評価方法
知識 技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・実技テスト</li> <li>・学習活動の観察</li> <li>・作品</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
思考 判断 表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品</li> <li>・定期考査</li> <li>・実技テスト</li> <li>・学習活動の観察</li> <li>・実習課題への取組</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
主体的に 学習に取り組む 態度	家族や地域の人々と共働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への取組</li> <li>・学習課題への取組</li> <li>・実習課題への取組</li> <li>・自己評価</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>

### 3 年間学習計画 《家庭科:3年》

期	月	時	単元・教材名	学習内容	学習のポイント	
前期	4	1	D身近な消費生活と環境	◎物資とサービス・値段の仕組み	●物資とサービスの意味を理解し、ものの値段の仕組みを知る。	
		2	商品の選択と購入(2)	◎選択の条件と生活情報の表示やマーク	●購入時の選ぶポイントについて学ぶ。	
		3	○選ぶときの条件		●様々な販売や支払いの方法、契約の意味について理解する。	
		4	○販売方法と支払い方法	◎販売や支払い方法・悪質商法	●クーリングオフの方法を理解し、様々な情報について知る。	
	5	5	○トラブルの解決	◎契約解除方法や購入の情報	●消費生活センターの役割と消費者に関わる様々な法律や仕組みを知る。	
		6	○消費者を守るしくみを知ろう	◎権利と責任・消費者保護公共機関	●消費行動と環境問題について関心を持ち、生活に生かせるようにする。	
		7	消費生活と環境(1)			
		8	A家族・家庭と子どもの成長	◎グリーンコンシューマーと環境		
	6	10	わたしの成長と家族や周囲の人々(0.5)	◎自分の成長のふりかえりと人の成長について	●自分の成長の過程をふりかえり、様々な人に支えられてきたことを認識する。	
			子どもの成長(3)	◎幼児と遊び・家族との関わり	●幼児にとってのあそびの意味を理解し、家族との関わり方を考える。	
		12	○幼児とあそび	◎おもちゃの役割	●おもちゃの役割を理解する。	
		13	○体の発達	◎幼児の体の発達と運動機能の発達	●幼児の体の発達の特徴と運動機能の発達について理解する。	
		7	14			
			15	○心の発達	◎幼児の心の発達	●情緒や言葉・社会性の発達等についてその特徴を理解する。
		8	16	○生活習慣	◎基本的な生活習慣と社会的な生活習慣	●基本的な生活習慣と社会的な生活習慣について理解する。
			17	生活に役立つものを作ろう		●作業工程を理解し、安全に配慮して製作する。
	9	18	○幼児の生活に役立つものを作ろう(3)	◎幼児に役立つもの作り		
		20	・幼児の喜ぶものを作る	・ネームプレートの製作		
		21				
		22				
後期	10	24	保育園や幼稚園に行ってみる。(4)			
		25				
		26	○事前学習	◎実習に当たっての準備	●実習への心構えや訪問時のマナーについて理解する。	
		27			●訪問にあたっての課題を設定する。	
	11	28	○保育実習	◎体験実習	●幼児とふれあい、適切に関わり保育実習を体験する。	
		29	(豊洲幼稚園にて)			
		30	○事後学習	◎体験のまとめ	●体験を振り返り、設定した課題についてまとめる。	
	12	32	○幼児の喜ぶものをつくろう	◎お礼のメッセージ集を作る	●体験を振り返り、幼児に喜んでもらえるような作品にする。	
		33				
		34				
1	35	○幼児の生活に役立つものを作ろう(2)		●簡単に紙でできるおもちゃをつくり、体験する。		
	36			●調理計画を立て、安全に配慮して実習する。		
	37	幼児のおもちゃ・おやつ作り	◎幼児に役立つもの作り			
	38					
2	39	○家庭生活と地域	◎地域の中で育つ	●地域の人々との関わりについて考える。		
	40					
	41	弁当を作ろう(2)				
	42	○弁当の作り方	◎栄養バランスの良い弁当	●これまでの学習を生かして栄養バランスのよい弁当について理解する。		
3	43	○弁当作り	◎弁当の調理	●弁当箱を持参し、弁当作りの実習を行う。		
	44					
	45					

\* ( ) 内の数字は配当時間を表す。